No. 447

共通テストリーディング 大問別 超絶テクニック完全版【設問の型・根拠の場所・ひっかけの消し方】

共テRの設問は「どこを読めば答えがあるか」を自分で言っている。大問ごとに設問の型→根拠の場所→正解の言い換え→誤答の消し方を、オリジナルの実演で体に入れる。

Web版はこちら

ここだけ3行

1. 問いの According to／Based on が根拠の地図。そこを起点に読む
2. 後から来た変更・例外が前を上書き。触れていない条件は残る
3. 正解は「具体→抽象」「行動→性格」「数→割合」に化ける

◆ 設問の型マップ：どこに根拠があるか

設問の型はR8本試の問題冊子から（追試も大問ごとの配点・設問数は同じ）。時間は9割ねらいの目安（編集部）

大問	よく出る設問の型	根拠の場所	時間
第1問	2人を選ぶ・次に何をするか・絵	名指しされた人の発言／決定・順番の発言	3分
第2問	意見はどれ・正しいのは・コメントの要点	問いが名指しする人の段落	6分
第3問	理由・並べ替え・学んだこと	冒頭のきっかけと結末	5分
第4問	コメントに従い語句・文を足す・直す	コメント番号の下線部の前後	7分
第5問	目的・照合・当てはまらない物・2つ選ぶ	案内の条件＋返信メールの変更	11分
第6問	人物の特徴・並べ替え・行動の意味	行動の場面と結末	11分
第7問	段落の要点・2つ選ぶ・新しい例に当てはめ	段落の主題文・数値・提案	14分
第8問	意見の要約・共通点・資料で理由を支える	Step1の各人／Source A・B	15分

問いの前置詞句が「根拠の地図」

共テの問いは According to Emma's message…／Based on Comment ②…／Based on Source B… のように、**どこを読めば答えがあるかを自分で言っている**。問いを読んだら名指しされた人・資料・コメント番号に丸をつけ、そこを起点に読む（コメントなら対応する下線部とその前後）。別の人の発言や常識で選んだ選択肢が定番の誤答。

◆ 第1問（6点）：チャット・掲示は「最後の決定」 3

型：2人を選ぶ／次に何をする／どう見える（絵）

☐ 1 決定を問われたら最後の一言

チャットは案が出ては消える。「何に決まった」「次に何をする」を問われたら最後の決定（Let's…／OK, then…）が根拠。途中の案は誤答の材料。

> Ken: Pizza? / Amy: I had it yesterday. / Ken: Then sushi it is.
> → 決まったのは sushi。pizza が誤答に化ける

☐ 2 「2人」は1人ずつ確かめる

Which two people…? は、選択肢の2人それぞれに根拠の発言があるかを確かめる。1人だけ合う組が誤答。

☐ 3 first・before は順番の印

「明日まず何をするか」は before／first のついた文が根拠。もう一方の予定は順番が後。

> Let's check the weather tomorrow morning before we book the bus.
> → まず天気を確認。予約はその後

◆ 第2問（12点）：意見と事実、誰のコメントか 3

型：意見はどれ／正しいのは／コメントの要点・そこから言えること

☐ 1 意見の問いは評価語で選ぶ

opinion を問われたら、should／best／worth／I believe など評価・判断の語を含む選択肢が候補。数字や日付だけの選択肢は本文と合っていても事実なので×。

> The new gym is worth the higher fee.
> → 意見（worth＝評価）
>
> The gym opened in May.
> → 事実（確かめられる）

☐ 2 数字は比べる相手を確認

調査の数字は前回やグループ間の比較で問われる。増えたのは割合か人数か、%か%ポイントかを確かめる。

☐ 3 コメントは「その人の文」だけ

Based on X's comment は X の文だけが根拠。不満（crowded／far）から、読み手のあなたに何が言えるかを一歩だけ推測する。

> Mia: Twenty people share one kitchen, so it's often crowded.
> → 料理する時間を選ぶ必要がありそう（一歩の推測）

◆ 第3問（9点）：短い物語は「きっかけ→結末」 3

型：理由・きっかけ／出来事の並べ替え（5つから4つ・完答）／学んだこと

☐ 1 並べる順は指示文の動詞で

appeared in the story＝書かれた順、happened＝起きた順。R8本試は第3問が appeared、第6問が happened。大問ごとに必ず確かめる。

☐ 2 回想は時間をさかのぼる

happened の時は、had＋過去分詞・years ago で語られる回想の中身を前に動かす。remembered（思い出した）という行為自体は、その場面の時点に置く。

> When I opened the box, I remembered the day Grandpa had given me the watch.
> → 起きた順：祖父がくれた→箱を開けた

☐ ③ **学んだことは結末の言動から**

most likely understood／learned は、結末で主人公が変えた行動や最後のせりふが根拠。正解は本文より一般的な言い方になる。

◆ 第4問(12点):推敲はコメントの要求に答える ③

型:コメントに従い、語句を足す・文を入れる場所・文や語句を置き換える

☐ ① **要求の語を訳してから選ぶ**

add an example＝例を足す、more specific＝具体的に、connect＝つなぐ、repetitive＝重複を消す。要求の種類で正解の形が決まる。

☐ ② **つなぎは前後の関係で**

同じ種類の情報を足すなら also、前の一般論を具体化するなら for example、逆向きなら however、原因→結果なら as a result。

> Paper bags are easy to recycle. ＿＿＿, they cost more to make.
> → However(利点→欠点で逆向き)

☐ ③ **入れる場所は this／these が鍵**

入れる文の this／these／such が自然に受けられる語句・内容が前にある位置を選ぶ(多くは直前の文)。入れた後、次の文に自然につながるかも確認。

> These small steps can make a big difference.
> → 直前に「小さな行動」の具体例が並ぶ位置へ

◆ 第5問(16点):複数の資料は「変更された所だけ上書き」 ③

型:目的／正しいのは／組み合わせ／当てはまらない物／相手にしてほしい2つ

☐ ① **資料の役割を先に決める**

チラシ＝条件、フォーム＝自分の行動、返信メール＝結果・変更・お願い。メールで明示的に変わった所だけ更新し、他はチラシと合わせて読む。「当てはまらない物」は条件と自分のフォームを1つずつ照合する。

> Leaflet: books published in the last five years / Your form: a novel from 2015
> → 2026年の催しなら条件外＝当てはまらない

☐ ② **目的は見出し直後と締め**

main purpose はチラシの見出し直後か最後の呼びかけ(Join us to…)。催しの一部だけを言う選択肢は狭すぎて×。

☐ ③ **お願いの2つは依頼の文から**

「相手にしてほしい2つ」は Please…／Could you…／would you kindly…? などの文が目印。遠回しな依頼もあるので、相手に求める行動を意味で確かめる。R8は本試・追試とも第5問の「2つ選ぶ」が各2点(完答ではない)。

◆ 第6問(12点):物語→アウトライン ③

型:人物の特徴(2つ選ぶ・完答)／出来事の並べ替え(完答)／行動の意味・その後の影響

☐ ① **アウトラインを地図にする**

見出し(人物・あらすじ・教訓など)と空欄を先に見て、どの場面で答えが出るかを予想してから通読する。

☐ ② **特徴は行動から言い換え**

選択肢は性格語より、行動を要約した文になりやすい。「口では文句ばかりだが行動は優しい」のような言葉と行動のずれが狙われる。

> He grumbled about the noise every day, yet he was the first to help fix our roof.
> → 文句は多いが、困った時に頼りになる人

☐ ③ **完答2つは段落番号で**

2つ選ぶ・並べ替えはどちらも完答(R8各3点)。選択肢ごとに本文の段落番号を書き、本文にない1つを先に消してから並べる。

◆ 第7問(16点):説明文→発表資料 ③

型:段落の要点／2つ選ぶ(完答)／数値・図／本文のルールを新しい例に当てはめる

☐ ① **空欄は段落の順に解く**

スライドの空欄は本文の段落の順に並ぶことが多い。1段落読んだら対応する空欄を解く。読み終えてからまとめて解かない。

☐ ② **数値は言い換えて照合**

half→50%、one in four→25%、doubled→2倍。何と何の比較かも一緒に確かめる。

☐ ③ **最後は当てはめ問題**

本文が示す条件・提案を新しい人物の習慣に当てはめる。「全部満たす」形か「どれかに当てはまる」形かを確かめ、本文の提案に反する習慣がある人は消す。

> Tip: breaks away from screens help memory. / Student: I watch videos during every break.
> → 条件に反する＝選ばない

◆ 第8問(17点):意見文の構成は Step の順に ③

型:Step1 意見の要約・共通点／Step2 立場を支える2人と共通点(完答)／Step3 資料で理由を支える

☐ ① **Step1は1人1行の立場メモ**

各人を「賛成・反対・条件つき＋理由1語」で書く。Both A and B mention は2人に共通する内容だけ。片方しか言っていない選択肢が誤答。

☐ ② **立場は問題文が決める**

Step2で立場が示されたら、それを支える人を選ぶ。自分の意見で選ばない。反対側の理由は本文に書いてあっても×。

☐ ③ **資料は「理由を支えるか」で判定**

Source の数字が正しくても、そのREASON を支えなければ×。each／all groups とあれば全グループで確かめる。

> REASON: The shoes reduce injuries. / Option: Most runners found the shoes stylish.
> → 数字が正しくても理由(けが)を支えない

◆ 正解はこう化ける:設問の型別の言い換え

例はすべてオリジナル。左を読んだら、右のような「まとめた言い方」を探す

設問の型	本文	正解の選択肢
目的	sell used books to buy new picture books	raise money for children's books
人物の特徴	stayed after practice to help every new member	supportive
その後の影響	since then, she has always carried a notebook	changed her habits
数値	one in three students	about 33 percent
2人の共通点	A: It costs too much. / B: Not everyone can afford it.	price is a barrier
教訓	finally apologized to his brother	admitting mistakes

◆ 誤答の消し方:大問別の決め手 6

☐ ✕ ~~第1問で途中に出た案(pizza)を選ぶ~~
○ **最後に決まった案(sushi)を選ぶ**
決定を問われたら、後の発言が前の案を上書きする

☐ ✕ ~~第2問の意見の問いで The survey was done in May.~~
○ **評価語を含む The rooms are good value.**
本文と合っても事実は意見の答えにならない

☐ ✕ ~~第4問で文法的に正しいだけの語句~~
○ **コメントの要求(例を足す等)に応える語句**
推敲は正しさよりコメントへの答え方

☐ ✕ ~~第5問でチラシの条件だけで判断~~
○ **返信メールの変更・例外を反映する**
後の資料で明示的に変わった条件は更新される

☐ ✕ ~~第7問で一部の段落だけの内容を見出しに~~
○ **全体を一言にまとめた選択肢**
見出し・まとめは全体をカバーする

☐ ✕ ~~第8問で Source の数字が合うだけで選ぶ~~
○ **REASON を支える内容か確かめる**
正しい数字でも理由とずれれば×

◆ どの大問でも使う:1問の決め方 4

① **問いの「どこ」に丸**
人名・資料名・コメント番号・段落。読む範囲をそこに限る。

② **根拠の行に線と設問番号**
線の横に設問番号を書くと、見直しで根拠に一瞬で戻れる。

③ **選択肢を塊に切って照合**
主語／動作／条件・数字・時に斜線。1つの塊でもずれたら×。

④ **残った1つの根拠を指差す**
根拠になる箇所(1か所とは限らない)を指させない選択肢は、どれだけ正しそうでも選ばない。

実演:第5問の「上書き」を30秒で

案内:Book Swap Day, Sat. June 6, 10:00–15:00. Bring up to three books. Comics are not accepted.／返信メール:Because of high demand, you can now bring up to five books. Please note the event will end at 14:00. → 何冊まで?5冊(メールで上書き)。何時まで?14時。コミックは?不可のまま。**メールが触れていない条件は、案内のまま生きている**。

◆ 確認テスト

1 Tom: Let's meet at 3. / Lisa: I have practice until 4. / Tom: OK, 4:30 then. 2人が会うのは?
a 3:00 b 4:00 c 4:30 d 決まっていない

2 意見にあたるのは?
a The survey was held in January. b Rent went up by 5%.
c The dorm is the best choice for first-year students.
d The dorm has 120 rooms.

3 Put them in the order they happened. の並べ方は?
a 短い順 b 本文に書かれた順 c 起きた順 d 重要な順

4 Smartphones are useful. ＿＿＿, they can disturb sleep. の ＿＿＿ は?
a As a result b However c For example d In addition

5 チラシに Open to students aged 15–18、返信メールに We can also accept 14-year-olds this time. 14歳の妹は?
a 来年なら参加できる b わからない c 今回は参加できる
d 参加できない

6 本文 one in four members に合うのは?
a 25 percent b about 14 percent c 40 percent d four members

◆ 解答

1 4:30 最後の決定が答え
2 The dorm is the best choice for first-year students. best＝評価・判断
3 起きた順 appeared なら書かれた順
4 However 利点→欠点で逆向き
5 今回は参加できる 後のメールが条件を上書き
6 25 percent 4分の1＝25%

参考資料 大学入試センター「令和8年度 本試験の問題」(英語リーディング問題冊子)／大学入試センター「令和8年度 本試験の正解」(配点)／大学入試センター「令和8年度 追・再試験の正解」(配点)／大学入試センター「令和9年度大学入学共通テスト問題作成方針」／原田英語「共通テスト英語リーディング解き方＆対策法大全」

もっと無料で学ぶなら
原田英語.com
究極の英単語帳(PDF印刷)・共テ単 キョウテタン・共通テスト満点チートシート・英文法大全・英作文超絶採点くん・時事英語ナビ…
受験に役立つ無料の英語アプリと、約2,800本の記事。
原田英語.com
ほかのチートシート
(全453本・無料)